

木材の川上から川下まで 健康経営でベストの仕事を

チューモク株式会社
代表取締役社長

澤田 喜朗 氏



今年70周年を迎えられました。

当社は1947（昭和22）年に「中越木材産業」として創立し、今年70周年を迎えました。日頃からお愛顧いただいているお客さま、地域の皆さまのおかげと感謝しております。

戦後の復興期、原木の伐採と製材を生業にスタートし、その後、外材の輸入販売や木製品・プレカット材の製造、建材・住設機器の販売、そして公共建築や住宅建設・リフォーム、さらにリサイク

ル事業と、「木」に基軸を置いた循環型の木材産業を展開する企業へと成長してきました。

循環型の木材産業とは？

木材流通では「川上から川下まで」という表現があります。山林での伐採に始まり、製材、建築用材へのプレカット加工、住宅の設計・施工に至るまで、当社は全ての部門を有しています。さらには木くずを製紙用チップにリサイクルしたり、各過程で排出される枝葉や樹皮などの廃棄物をパーク堆

肥にして自然へ還したりするなど、「木」の恵みを活かし切る循環型の木材産業を展開しています。このように木の利活用から再利用までを一貫して取り組む企業は他にはないと自負しています。

企業理念についてお伺いします。

当社は企業理念として「顧客志向、人間尊重、社会貢献」を掲げています。顧客志向は、お客様の満足度を高めるよう努めることですが、お客様の言いなりになるのではなく、お客様の立場に立ってプロとして総合的に提案していくことです。人間尊重は、社員が働きやすい環境づくりに努めること。チューモクで働くことに自信と誇りを持つ会社を目指しています。社会貢献は、地域との共存共栄を喜びとし地域社会の発展に努めることです。

－木のプロ集団－

木は、治山治水、二酸化炭素循環、調湿、芳香、抗菌、潤い、デザイン性など多様な効能を有する一方、一つとして同じものはなく、一本一本異なる特徴やクセがあります。それぞれの良さを最大限に生かすためには、木の個性を見極める確かな目が必要となります。

伐採のプロ、加工のプロ、乾燥のプロ、木造建築のプロ、さらには木質リサイクルのプロなど、様々な木材利用の現場に携わる当社の社員は「木のプロ集団」と言えます。企業活動を通じて、木の良さを地域へ広めていくことも社会的な使命だと考えています。

「森づくり」もされています。

1997年の創立50周年の時に、良好な里山づくりと森の大切さを見つめ直すため、南砺市内の社有地（3.5ha）に社員らと記念植樹を行いました。この「チューモクの

森」は社員が下草刈りや散策路の整備に取り組んでおり、昨年にはとやまの森づくりサポートセンターに企業登録しました。数年後には住民の方を交えて森の公益的機能や木々の特徴などを学習する場として活用し、地域の森づくりのモデルにしたいと考えています。**「和+モダン」の家づくりを提案されています。**

木を知り尽くした当社として、木の良さを最大限に引き出す家づくりを提案しています。木材会社の家というと、四面全てが木で覆われた昔ながらの建築様式をイメージする方もいますが、当社は「和+モダン」をコンセプトに掲げています。昔からの固定概念に捉われたり、一時の流行りに流されたりすることなく、木をはじめとする自然風土の「和」の要素を生かしながら、現代の「モダン」デザインと調和させ、末永く愛着の持てる家づくりを提案しています。**2020年には全ての新築住宅で省エネ基準への適応が義務化されます。**当社は早くから木質リサイクル事業や工場屋根を活用した太陽光発電事業を行い、環境と共生した経営に取り組んできましたが、住宅事業においてもいち早く省エネ住宅に着手しました。今では創エネによる環境にも家計にもやさしいゼロエネルギー住宅（ZEH）

を設計・施工するなど、多様化かつ高度化する住宅ニーズに対応し、人と環境に優しい家づくりを追求し続けています。

今後の事業展開を教えてください。

人口減少と共に住宅市場の縮小が懸念されますが、「より良い暮らし、より快適な生活」の具現化に向け、取り組むべき家づくりの提案は無量大数であると考えます。

これまで、住宅部門では県西部を中心に営業展開してきましたが、今年の秋には富山市の総合住宅展示場「ジュートピア富山」に出店する予定です。当社が存続していくためにも、県東部へもチューモクの家づくりを広めていき、ぜひ成功させたいと考えています。**健康経営を宣言しておられます。**

70年の歴史は真面目な社員のおかげです。社員とその家族みんなが幸せになるよう、従業員の健康には人一倍気にかけており、健康活動を企業経営の一環として取り組んでいます。全社朝礼では行動指針として、「自分の身体のコンディションはこれで良いか、常に全力で働ける態勢を整え健康に留意しよう」と唱和しています。

昨年7月には協会けんぽの「健康経営」の企業宣言を行い、今年5月富山県支部より各種健康活動が認められ、「健康優良企業」の認定を頂きました。



70周年に、全社員と記念撮影

座右の銘を教えてください。

1つ目は「木の癖組みは人組みなり。人組みは人の癖組みなり」。薬師寺西塔を再建した西岡常一棟梁の言葉です。一人ひとりの個性を尊重し、それぞれがベストを尽くしつつ、周りとの調和を大切にすることで、組織が強くなります。

2つ目は「一隅を照らす これ即ちチューモクの宝なり（これ即ち国の宝なり）」。「最澄大師の言葉を頂きました。当社には多くの事業部門があります。働く場所や立場が違って、自分の置かれた場所でベストを尽くす。それがひいては会社全体を照らすことになります。

70年の節目を機に、従業員一丸となってこれまでの経験と知恵を生かし、これからも地域の皆さまの「住まい」や「暮らし」のお役に立てる企業を目指して参ります。

略歴

1947（昭和22）年5月生まれ。南砺市（福光町）出身。高岡高校、慶応大学商学部卒業、1970年北陸銀行入行。米ビッツバーグ大学ビジネス講座修了。支店長等を歴任し、2000年10月チューモク㈱へ入社。2001年常務、2003年専務、2007年代表取締役専務を経て、2011年2月代表取締役社長。趣味は宝生流謡曲。

会社概要

チューモク株式会社

創業：1947（昭和22）年2月
所在地：南砺市田中793
資本金：8,470万円
事業内容：内外材・原木の販売、伐採・索道、製材、プレカット、総合建設、住宅・不動産、建材品、木材チップ・パーク堆肥製造、石油販売、ゴルフ練習場等
従業員数：125名
売上高：約60億円（2016年12月期）
事業所：〈営業所〉高岡、七尾、川崎、浜松
〈住宅展示場〉高岡、富山
関連会社：中越鉄工㈱（株）シーエムシー
URL：http://www.chumoku.co.jp/